

教育指導担当

G I G Aスクールサポーターの配置について

児童・生徒1人1台タブレット端末の環境を実現し、I C T教育環境の規模が急拡大したため、G I G Aスクール構想で整備した機器の設定作業、故障・修繕機器の搬送等を行うG I G Aスクールサポーターを港区立教育センターに配置します。

また、各校に配置しているI C T支援員についても、巡回の回数を増加します。

1 背景

令和2年度に、新型コロナウイルス感染症対策として、5か年計画であった国のG I G Aスクール構想が前倒しとなり、I C T環境の急な整備が求められました。児童・生徒に対して1人1台の端末配備を行ったことにより、現在は保守対象端末が令和元年度以前の5倍以上となり、タブレット端末、P C端末は1万6千台を超えるとともに、端末活用に関するコンテンツの整備等、事業規模が急拡大しています。I C T支援員は現在、各小中学校に週1回配置していますが、増加した端末の設定や故障端末の搬送など、運用保守に関わる業務や各小中学校からの端末保守に関する問合せが急増しており、円滑な運用に向けた対応を行う人材を確保する必要があります。

2 G I G Aスクールサポーターの配置

(1) 役割

- ・各小中学校からのタブレット端末に関する問合せへの対応
- ・各小中学校の故障したタブレット端末への対応
- ・各小中学校のタブレット端末活用に関する実態把握
- ・タブレット端末の運用に関するマニュアル等の作成
- ・I C T教育環境整備を検討する会議に向けた資料作成
- ・各小中学校のタブレット端末活用に関するアンケートの実施及び分析

(2) 配置

配置開始 令和3年7月1日

配置人数 1名(週4日、午前8時30分から午後5時15分まで)

(3) その他

I C T支援員については通常の週1回の配置のほか、学校の要請に応じて巡回の回数を増やして各小中学校の支援を行います。

3 期待できる効果

端末が故障した際には、授業での活用に支障が出ないようにすぐに代替機の配備を行っていますが、故障端末を修理して各校に端末を戻すまでに1月程度の時間を要しています。GIGAスクールサポーターの配置により、故障端末の運搬が速やかになることでこの期間を2週間程度に短縮することができます。

また、各小中学校の問合せに対して迅速に対応することができるようになります。

さらに、タブレット端末の整備だけでなく、各学校の活用状況などの実態把握を適切に行うことができるようになります。

4 経費

項目	補正予算	備考
GIGAスクールサポーターの配置 ICT環境整備のための支援業務	9,386千円	国が1/2補助
各校のICT支援員の巡回回数増加 対応	1,485千円	都が3/4補助
合計金額	10,871千円	

5 スケジュール (予定)

令和3年6月 令和3年第2回港区議会定例会 (補正予算)

7月1日 GIGAスクールサポーターの配置

ICT支援員の巡回回数増加